

週刊新潮

10月26日号
400円

特集

「小池百合子」と死屍累々



41

注目の名医 65

●スペシャルインタビュー
Special Interview

佐賀・武雄市●専門医9人体制で花粉症やアレルギー性鼻炎などに対応

もうすぐ花粉症の季節。まだ間に合う事前の治療

鼻粘膜レーザー治療や舌下免疫療法で人気を呼ぶ

ルネサンス '17 医療

医療法人ファースト くさの耳鼻咽喉科

理事長 草野謙一郎 医師

花粉症は一度発症すると毎年繰り返し自然に治ることはほとんどない。現在では有病率は25%となり、4人に1人は花粉症とまさに国民病化しているが、スギ花粉症等に舌下免疫療法や鼻粘膜レーザー治療を用いて大きな評判を呼んでいるのが佐賀県武雄市にある『医療法人ファーストくさの耳鼻咽喉科』である。ピークの2〜3月の土曜日は午前中だけで二百人を超す患者が訪れる日もあるという。花粉が飛ぶ前、まさに今のうちから治療を始めることが鉄則と語る理事長の草野謙一郎医師に話を聞いた。

鼻のレーザー治療でスッキリ

「耳鼻咽喉科の患者さんの多くを占めるのが花粉症の患者さんで、そのピークは2〜

4月です。スギ花粉の最も多く飛ぶ時期は九州では2〜3月位で、学生さんは受験、社会人の方は年度末と重なるので、多くの方が治療を受けられます。従来は鼻水や鼻づまりを止める薬剤による対症療法がメインでしたが、レーザーが用いられるようになり低侵襲な手術が可能になりましたので、当院でも多くの方がレーザー治療を受けられています。レーザーを鼻粘膜に照射して薄く焦がし鼻粘膜を強化することで鼻水や鼻づまりを軽減する治療法です。10歳

舌下免疫療法で根治を目指す

「そしてもう一つの評判の治療法が、2014年に承認されたスギ花粉治療液による舌下免疫療法です。花粉症の根治を目指すアレルギー療法のひとつで、舌下免疫療法を始めた約2割の方の症状が出なくなり、6割の方に症状の改善が見られています。舌下免疫療法は3〜5年間毎日の滴下継続が必要とされていますが、開始した翌春には症状が軽減される方もなかにはいらつ

しゃいます。こちらも保険適用で、スギの液体エキスを舌の下に毎日垂らして、体を徐々にスギ花粉に慣れさせていく方法です。治療開始はやはり花粉の飛散がない6月から11月(九州ではの間に行うこと)になります。また、治療中でもスギ花粉が飛んでいるときは、その症状によってアレルギー薬が別途必要になることもあります」

すべては患者様のために

耳鼻咽喉科クリニックとしては珍しく、CTをはじめとする高度な検査・治療機器を導入し、ドクターは佐賀大学や九州大学などから専門医を8人招き、曜日によっては3人の診療体制を組み、より専門的な治療が必要な場合は佐賀大学医学部附属病院など様々な病院への紹介システムができています。

そして、「すべては患者様のために」というモットーの下、全スタッフは、自分のスキルを高める努力を日々怠らない。



●PROFILE 草野謙一郎 (くさの・けんいちろう)

医学博士。1999年 佐賀医科大学医学部卒業。佐賀医科大学医学部耳鼻咽喉科、佐賀県立病院好生館(現・佐賀県医療センター好生館)、福岡徳洲会病院等の耳鼻咽喉科を経て2010年開院、2014年医療法人ファースト くさの耳鼻咽喉科 理事長。

■日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医

「耳の聞こえが悪い」「鼻水や鼻づまりがひどい」「喉の痛みや腫れ」など、耳鼻咽喉科の症状は多くあります。当院では、最新の医療機器を導入し、専門医のチームで丁寧な診療を行います。また、患者様の生活に合わせた治療法を提案いたします。お気軽にご相談ください。



くさの耳鼻咽喉科
http://www.kusano-jibika.com/

診療時間 ◆午前 9:00 ~ 12:30
午後 2:30 ~ 6:00
水曜・土曜午後、日、祝日は休診日になります。
所在地 ◆佐賀県武雄市朝日町大字甘久1287 (メリーランド武雄内) アクセス ◆JR佐世保線「高橋駅」から徒歩約9分。長崎自動車道「武雄北方」インターから車で約2分
TEL&FAX ◆0954-23-3333
くさの耳鼻咽喉科 検索